

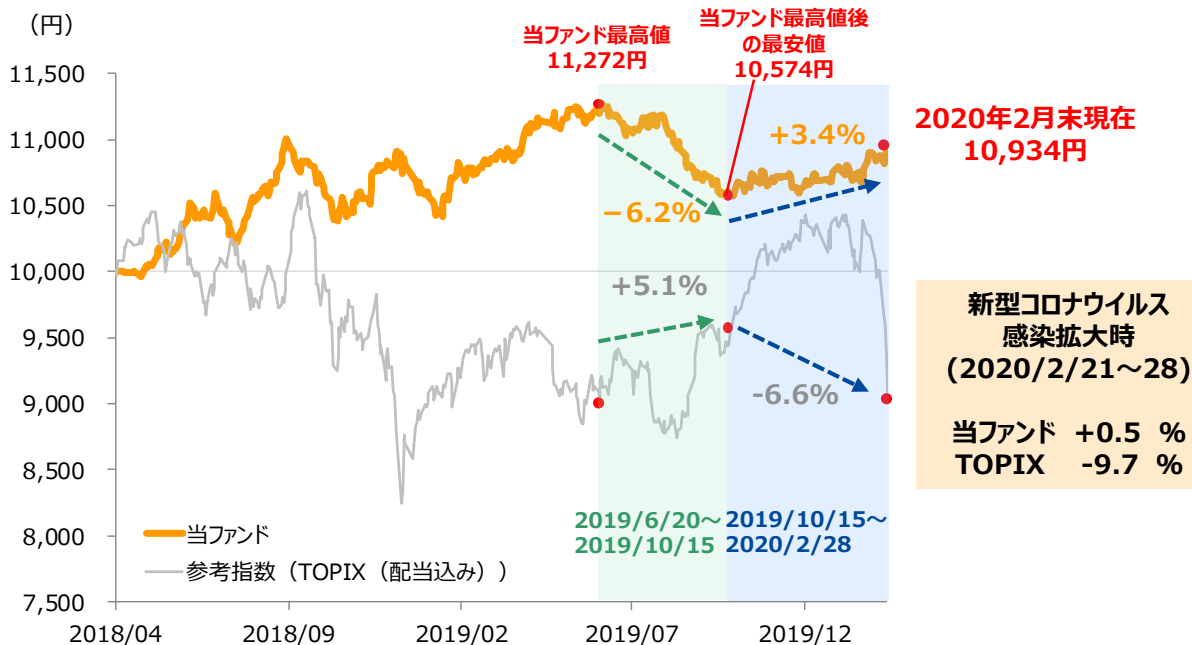
スパークス・厳選株ファンド・ヘッジ型（ダイワ投資一任専用） 直近の運用状況と新型コロナウイルスへの見解

当ファンドは2018年4月の設定来、市場全体の急落局面がある中でTOPIX（配当込み）を上回る超過収益を安定的に獲得してきました。2020年2月28日現在、基準価額は10,934円、純資産総額は約95億円となっております。

下記のように当ファンド設定来の基準価額最高値11,272円をつけた2019年6月半ばから同年10月半ばまで超過収益を生み出せない期間がございましたが、その後現在に至るまで昨今の新型コロナウイルス問題などの株式市場急落にも左右されず、回復基調となっております。

当ファンドと参考指数（TOPIX（配当込み））の 基準価額推移比較

（2018年4月16日～2020年2月末）



当ファンド設定来のパフォーマンスとリスク・リターン特性

（2018年4月16日～2020年2月末）

基準価額	純資産総額	運用期間
10,934円	94.75億円	1年10カ月

	当ファンド	TOPIX (配当込み)	超過収益
設定来	9.34%	-9.63%	18.97%
年率リターン	4.84%	-5.22%	10.07%
年率リスク	5.73%	15.13%	-9.40%

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 参考指数（TOPIX（配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 2018年4月16日を10,000として指数化しています。

※ 年率リターンは計算期間（2018年4月16日～2020年2月28日）におけるリターンを年率換算しています。年率リスクも同計算期間における日次リターンの標準偏差（年率換算）です。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年2月末現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

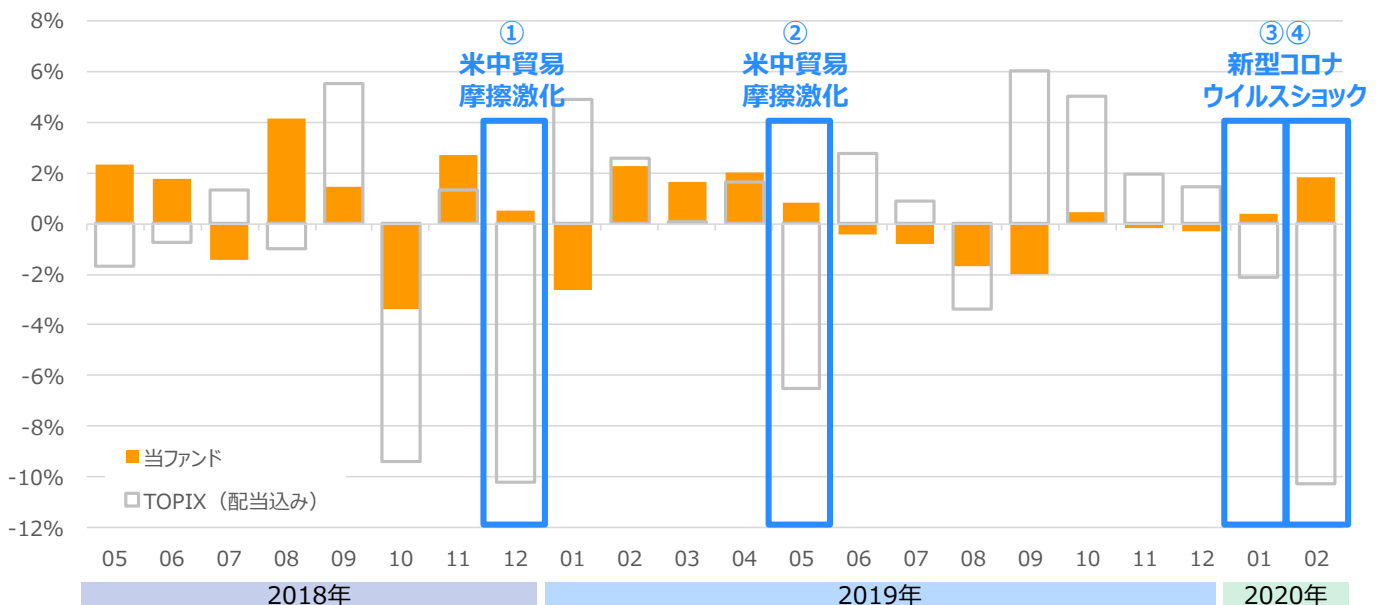
月次騰落率比較

当ファンドとTOPIX（配当込み）の月次騰落率を見ると、2018年12月、2019年5月、2020年1月と2月は、TOPIX（配当込み）が急落する中で、当ファンドはプラスリターンを獲得しております。

市場全体の変動に左右されにくいリターンを獲得することで、“**長期的にプラスのリターンを獲得するためには、大きなリターンを上げることよりも、大きく下落しないことが重要**”をまさに体現しているのが当ファンドの実績です。

当ファンドとTOPIX（配当込み）の月次騰落率比較

(2018年5月～2020年2月)



		当ファンド	TOPIX (配当込み)	急落時けん引銘柄 (同月内株価騰落率)
①	2018年12月	0.50%	-10.21%	ユニ・チャーム : +0.14%
②	2019年5月	0.80%	-6.52%	リクルートHD : +4.18% シマノ : +2.15%
③	2020年1月	0.41%	-2.14%	リクルートHD : +5.00% テルモ : +2.55% ミスミ : +1.80% ユニ・チャーム : +1.95%
④	2020年2月	1.83%	-10.27%	ソフトバンク : +10.81%

※ 当該実績は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。

※ 参考指数 (TOPIX (配当込み)) は当ファンドのベンチマークではありません。

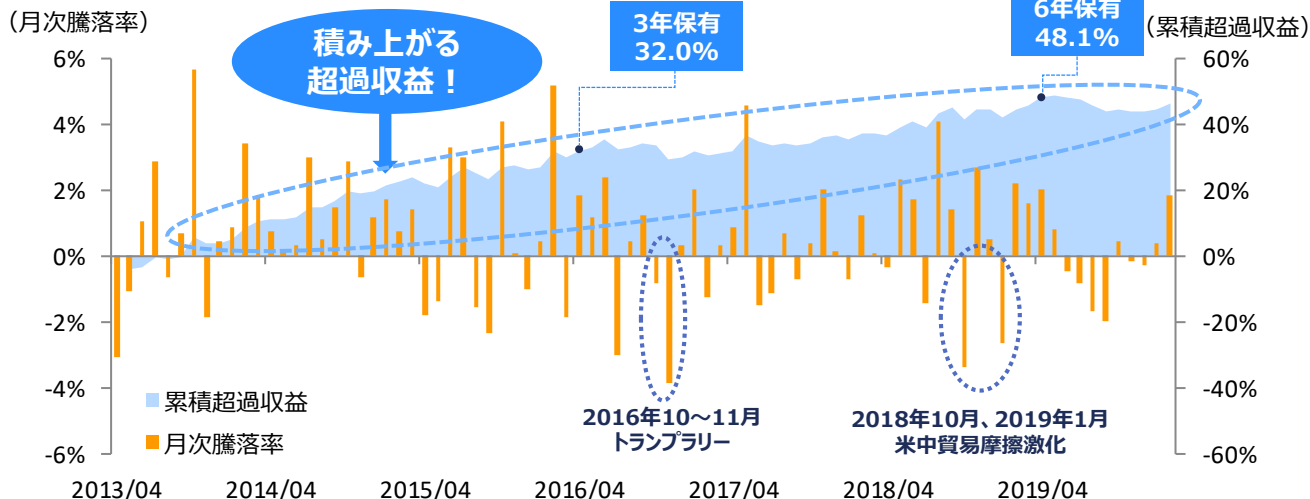
出所 : スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2020年2月末現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

時間をかけて着実に積み上がる超過収益

当ファンドのヘッジ・シミュレーションと運用実績の月次騰落率・累積超過収益を見ると、月毎では超過収益が取れている月と取れていない月があるものの、時間をかけて保有いただくことで着実に累積超過収益が積み上がっていることがお分かりいただけます。

当ファンドのヘッジ・シミュレーションと運用実績の月次騰落率と累積超過収益
(2013年4月～2020年2月)

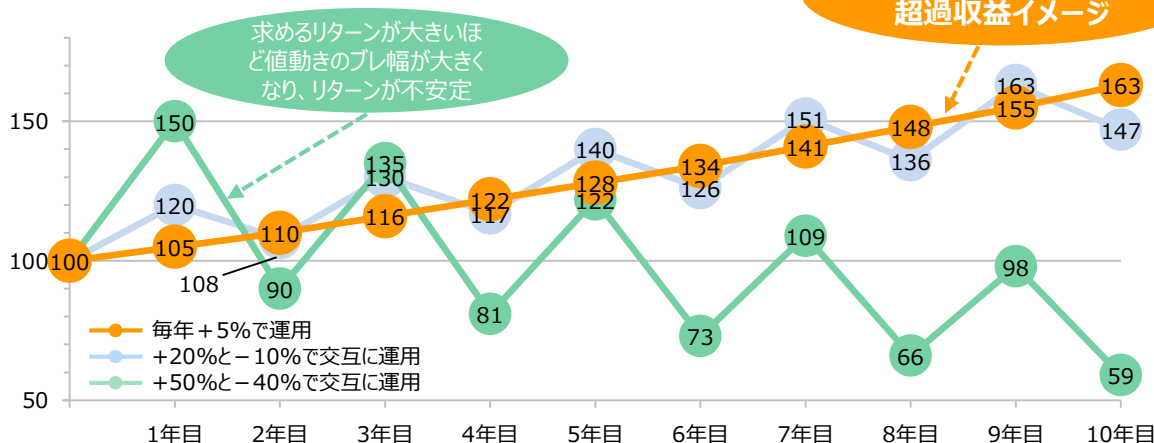


※ 当ファンドのヘッジ・シミュレーションと運用実績における2013年4月から2018年4月末までのデータは、当ファンドのマザーファンドであるベスト・ピック・ファンドの基準価額をもとに、マーケット・ニュートラル運用（株価指数先物取引等の売建てによる株式ヘッジ）を適用した場合のシミュレーションです。当該データは、当ファンドの信託報酬相当を控除しており、リバランス、ロールオーバー等、株価指数先物取引にかかる費用については考慮していません。また、ベスト・ピック・ファンドの過去の実績をもとにしたシミュレーションであり、当ファンドの実績ではありません。

※ 当ファンドのヘッジ・シミュレーションと運用実績における2018年4月末～2020年2月末までのデータは、当ファンド実績から算出したもので、当該データの分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

※ 当該ヘッジ・シミュレーションと当ファンドの運用実績は過去の実績であり、将来の運用成績等を示唆、保証するものではありません。

年間の騰落率別シミュレーション



※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのイメージ図です。全てのケースに当てはまるものではなく、当ファンドの将来の結果をお約束するものではありません。

※ 上記は前提条件を元にスパークス・アセット・マネジメントで計算したシミュレーションによるイメージであり、将来を保証、示唆するものではありません。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2020年2月末現在)

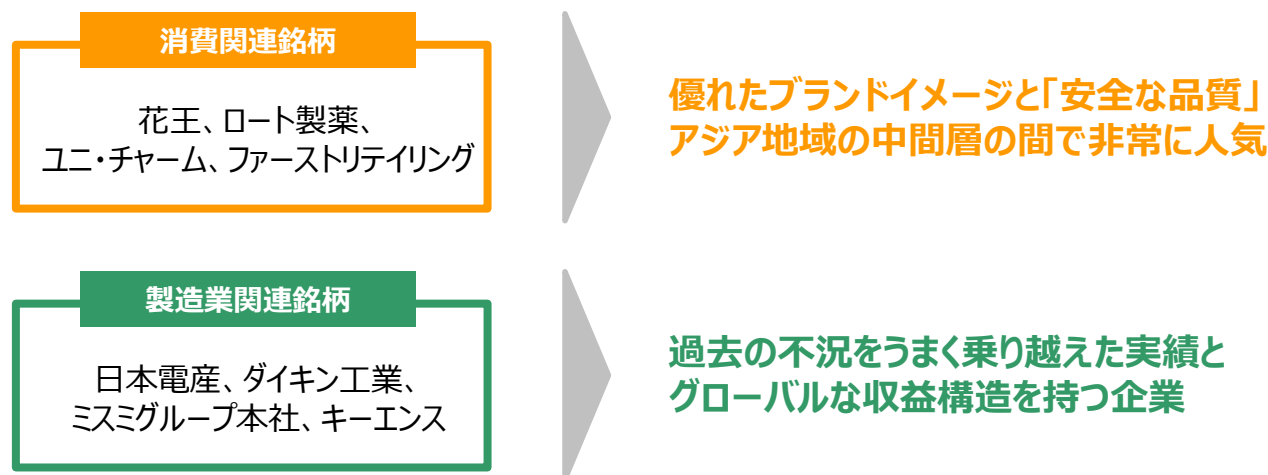
当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

新型コロナウイルス感染症の拡大についての見解

当ファンドのポートフォリオは、一時的な危機に陥った場合にも早い回復が期待できる企業に投資しています。

当ファンドのポートフォリオの約 3 分の 1 は、「中国におけるビジネスを主な成長分野の一つとしている企業」で構成されていますが、**どの企業も中国を唯一の収益源としてはいません**。率直に言えば、今後数週間から数ヶ月間の短期的には、これらの「中国関連銘柄」は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くとビジネスの成長鈍化の可能性があります。

このような「弱気シナリオ」においては、我々の投資する強力なリーダーシップと財務力を備えた企業こそが危機が収まった時にマイナス影響を最小限に抑え、競合他社優位に立つと考えています。



株式市場は長期では企業の実態価値を反映しますが、短期では一時的な業績悪化に関するニュースなどの影響を受け、予想もしない動きをすることが多々あります。

今回のリスク事象を米中貿易摩擦よりも持続性が低い「一時的なイベント」と私どもは考えており、当ファンドのポートフォリオを維持する方針です。「**新型コロナウイルス感染症の拡大**」は、**当ファンドのポートフォリオが持つ「ビジネスの優位性」とは直接関係ないものと、私どもは考えます。**

※ 上記はベスト・ピック・ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント（2020年2月末現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

ソフトバンクグループ° (9984) について

前述の通り、当ファンド設定来の基準価額最高値11,272円をつけた2019年6月半ばから同年10月半ばまで超過収益を生み出せない期間がございましたが、その主な要因の一つとして、組入上位銘柄であるソフトバンクグループの株価下落による影響がございました。この時、私どもはソフトバンクグループ株の株価下落はビジョンファンドだけを捉えた過剰な反応であると考えられますとお伝えしておりました。

その後、ソフトバンクグループは足元の株式市場が急落しているものの堅調に推移しております。**私どもの考える①起業家として実績豊富な孫社長に対する期待と、②同社の株価が保有資産価値に比べて大幅に割安な水準にあるという2つの投資理由に変わりはなく、今後も短期的な情報に一喜一憂せずに同社の展開を注視して参ります。**

ソフトバンクグループ株価推移
(2019年6月20日-2020年2月28日)



正しい投資行動とは？

1万円儲けたとき



損失による精神的苦痛は、利益による満足感と比較すると

心理的インパクト約2.5倍
(プロスペクト理論)

1万円損した時



人間の行動パターン

将来に大きい利益が期待されていても、
目先の小さい利益のほうをとってしまう

- 例) ・ちよつと損をすると売ってしまう
- ・すぐに利益確定売りをしてしまう

**じっくり腰を据えて投資を行うことは非常に効果的であり、
これは当ファンドにも当てはまることだと私どもは考えています**

※ 上記はベスト・ピック・ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。
出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2020年2月末現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・オールキャップ・ベスト・ピック・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本の株式に投資するとともに、株価指数先物取引等を活用し、株式市場の変動リスクの低減を図りつつ、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本とします。

ファンドの特色

- 1** **わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、『魅力的』と判断した銘柄に投資します。**
『魅力的』な銘柄とは、高い技術力やブランド力があり、今後グローバルでの活躍が期待出来、成長していく日本企業（新・国際優良企業）をいいます。

●ベンチマークや業種にとらわれず、『厳選』した少数の投資銘柄群に集中的に投資を行うことを基本とします。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

●原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

- 2** 当ファンドにおいては株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、わが国の株価指数先物取引等の売建てによりヘッジを行います。

ファンドの資金動向や市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

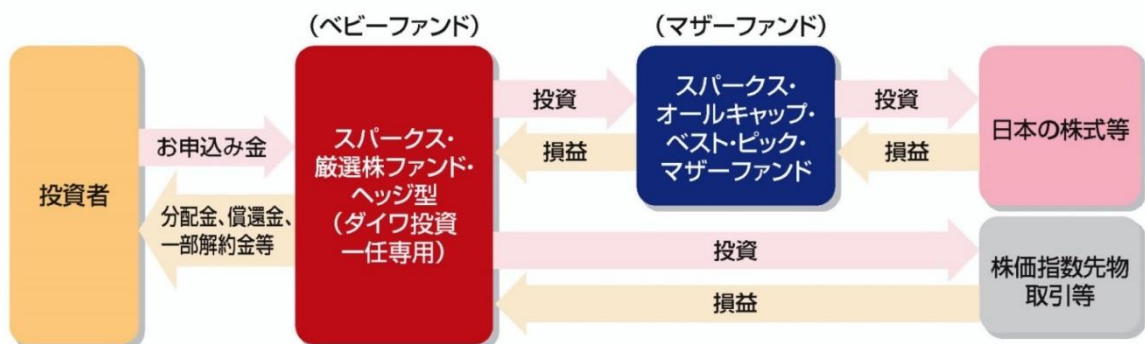
- 3** 当ファンドは、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。

当ファンドの購入の申込みを行う投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。

ファンドの仕組み

当ファンドは、ファミリーファンド方式※により運用を行います。

- ※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。
- なお、当ファンドは、マザーファンドへの投資のほか、株価指数先物取引等の売建てを行います。



当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、国内の株式などの値動きのある有価証券に投資するとともに、株価指数先物取引等を活用しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

株式ヘッジに伴うリスク

当ファンドは、国内の株式に投資するとともに、株式市場全体の変動の影響を低減することを目的として、株価指数先物取引等の売建てを行いますので、株式市場全体が上昇しても必ずしも基準価額が上昇するわけではありません。また、完全に株式市場全体の動きの影響を排除できるものではありません。マザーファンドの株式ポートフォリオの価格上昇の寄与が株価指数先物の価格上昇の寄与より小さい場合、または、マザーファンドの株式ポートフォリオの価格下落の影響が株価指数先物の価格下落の影響より大きい場合等には、基準価額が下落する可能性があります。マザーファンドの株式ポートフォリオの価格が下落し、株価指数先物の価格が上昇する場合、基準価額の下落幅が拡大することがあります。

信用リスク

- ・ 組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。
- ・ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、投資リスクを適切に管理するため、運用部門ではファンドの特性に沿ったリスク範囲内で運用を行うよう留意しています。また、運用部門から独立した管理担当部門によりモニタリング等のリスク管理を行っています。

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

お申込みメモ

※大和証券でお申込みの場合

【購入単位】 最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位

【購入価額】 購入申込受付日の基準価額

【換金価額】 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額（1万口当たり）

【換金代金】 原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

【換金制限】 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。

【購入・換金申込受付の中止および取消し】

金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金申込受付を取り消すことがあります。

【信託期間】 2018年4月17日から2028年4月14日まで

※受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

【信託期間】 次のいずれの場合等には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還となることがあります。

- 受益権の口数が30億口を下回るようになった場合
- 信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき
- やむを得ない事情が生じたとき 等

【決算日】 毎年4月15日および10月15日（休業日の場合は翌営業日）

【収益分配】 年2回、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

ただし、分配対象額が少額の場合等は分配を行わないこともあります。

【信託金の限度額】 2,000億円を上限とします。

【課税関係】 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除の適用が可能です。

※ 上記は2020年2月末日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【購入申込時】

■ 購入時手数料：ありません。

【換金申込時】

■ 信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額に対して**0.15%**の率を乗じて得た額

■ 換金時手数料：なし

【保有期間中】（信託財産から間接的にご負担いただきます）

■ 信託報酬：純資産総額に対して**年率1.243%（税抜1.13%）**

■ その他の費用等

- (1) 監査報酬、投資信託説明書（目論見書）や運用報告書等の作成費用などの諸費用（純資産総額に対して上限年率0.11%（税抜0.10%））
- (2) 有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
 （加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
 ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○

<特化型に関して>

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00～17：00）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。